

佐渡國しま海道 よれっチャ伝言板

■協力者募集! 寄茶屋 (よれっチャ) 実験・ご協力のお願い

旅の途中でちょっと道を訪ねたり、トイレを借りたり…。そんな「小さな道の駅」が、島のあちこちにあるとよいのでは。佐渡國しま海道では、そうしたささやかなおもてなしの場所を「寄茶屋」(よれっチャ)と名付け、協力して下さる方を募集します。

寄茶屋は・・・

- ・旅行者に簡単な道案内をする。相談にのる。
 - ・トイレや電話を貸す。*実費をもらうのは可
- といった役割を想定しています。

それ以上の交流につなげていただくことも歓迎です。道沿いの住宅、商店、事業所などでご協力いただける方、ご連絡をお待ちしています。

平成20年度は実験期間とし、7～8軒程度で試行。

その結果を踏まえ、それ以降の本格実施に向かいます。

応募期限：平成20年3月30日

お問い合わせは 佐渡國しま海道事務局 ☎57-0118まで



写真はイメージです



■北陸地域の風景街道に登録されました

北陸地方の風景の魅力を生かした新たな風景づくりを目指す北陸風景街道の認証式が朱鷺メッセで11月29日(木)に行われ、各県の関係者らが集まり、交流を深めました。北陸風景街道認証式では各ルートの申請団体の代表者に北陸風景街道交流会議事務局から登録証が手渡されました。

北陸風景街道HPはこちら <http://www.hokuriku-fukeikaidou.jp/>



北陸地域で11ルートが登録されました。

■各地域の道プロジェクトの活動紹介 ～小佐渡東部エリア～

プロジェクト名 新穂銀山散歩道建設プロジェクト 「新穂銀山周辺散策会」新穂銀山を歩く会

10月28日(日)絶好の散策日和の中、佐渡國しま海道の重点ルートの1つ「新穂銀山ルート」の周辺を地域住民が散策しました。当日は地域の小学生を含む45名が参加。かつて銀を産出した穴「間歩」(まぶ)や新緑・紅葉の名所「新穂ダム」などを散策し、全員で芋煮汁を作って昼食をとりました。身近な地域の景観を再発見するイベントとなったようです。



■相川・沢根
「江戸時代を偲ぶ景観」
をテーマとしたエリア

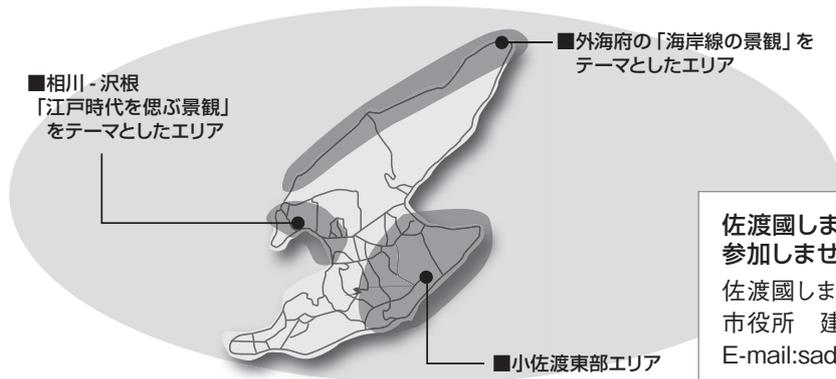
プロジェクト名 古代北陸道・世阿弥が歩いた道 「世阿弥が歩いた道を歩く会」萬都佐木グループ

10月28日(日)「第2回世阿弥の道を歩く会」が実施されました。参加者は秋の古道を心地よい汗とともに歩きました。当日は旧畑野町の紅葉山公園で「紅葉山まつり」が行なわれ、そこには佐渡國しま海道が協力出展した佐渡海洋深層水の足湯コーナーが設置されました。参加者は温かい足湯で散策の疲れを癒していました。



■外海府の「海岸線の景観」を
テーマとしたエリア

■小佐渡東部エリア



佐渡國しま海道の活動に
参加しませんか？

佐渡國しま海道事務局 ☎57-0118
市役所 建設課 ☎63-5118
E-mail: sadokaidou@yahoo.co.jp

40歳から74歳の皆さんの
生活習慣病予防を応援します

平成20年4月から



「特定健康診査」「特定保健指導」が始まります



糖尿病、虚血性心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病の患者は年々増加し、現在では死亡原因の6割、医療費の3割を占めるにいたっています。これら生活習慣病は、肥満、特に内臓に脂肪が蓄積した内臓脂肪型肥満に加え、高血圧、高血糖、脂質異常の危険因子が加わることで発症する危険性が高まります。このような内臓脂肪蓄積により、さまざまな病気が引き起こされた状態をメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)と呼び、注目されています。

平成20年4月から、メタボリックシンドロームを早期発見し、伸び続ける医療費の適正化を図るため、特定健康診査・特定保健指導が、医療保険者【政府管掌医療保険(社会保険)・共済組合・組合健康保険・国民健康保険等】に義務付けられました。

年に一度は自身の健康状態を知り、生活習慣病の前段階である、メタボリックシンドロームの予防・改善に努めましょう。



◆お問い合わせ
市役所 市民課(国保年金係) ☎63-5112
市役所 保健医療課(保健係) ☎63-3115

詳しくは今月配布します「平成20年度佐渡市検診申込調査票」に同封する説明書をご確認ください。

① 40歳から74歳の方は、各医療保険者が発行する受診券により指定された健診機関で特定健診を受診(佐渡市国民健康保険の方は、市が行う特定健康診査を受診)

② 39歳未満で事業主健診等の受診機会のない方は佐渡市が行う健康診査を受診

③ 75歳以上の方は新潟県後期高齢者広域連合が行う健康診査を受診

今回の制度改正により、従来の基
本健康診査の対象者が次のように分
けられます。

羽茂果実協会が 日本農業賞新潟県最優秀賞 を受賞



⑬おけさ柿で知られる農事組合法人羽茂果実協会が、第37回日本農業賞集団組織の部で新潟県最優秀賞を受賞し新潟県代表になりました。昭和21年結成、昭和48年法人設立以来高い技術力とトップブランドの確立、主産地の維持発展に関する継続した独自の取り組みが地域活性化に大きく寄与しているとして評価されたものです。

(羽茂果実協会 協会長 庵原直道)